



ひまるちゃん通信 丸山ひろあき市政報告

丸山ひろあき : 小坪3-14-2 TEL046-872-5517



母子避難所が開設されます！

令和5年1月30日、災害発生時に妊産婦

と乳児が医師や助産師のサポートを受けられる「妊産婦・乳児福祉避難所」を開設するため、逗子市は聖和学院・逗葉医師会・神奈川県助産師会と協定を結びました。医師や助産師のサポートを受けられる妊産婦・幼児専用の福祉避難所の開設は、神奈川県内で初めてとのことですが、おそらく女子中学・高校にそれが設置されるのは日本初だと思います。



東日本大震災では、避難所毎の妊産婦の人数把握もできず、妊娠経過が分からずに不安を一人で抱える方や、産後の保健指導が受けられずに避難所で孤立した方、人目を気にして授乳が途絶えた方も多かったそうです。

妊産婦は、2時間おきの赤ちゃんの授乳のため、避難所での消灯時間など、集団生活のリズムに合わせるのは難しく、おむつやミルク、離乳食、母乳パッドなど特別に必要な物資もあり、必要な水分量や栄養も異なります。



妊婦は体調が急変することもあり、専門家とすぐにつながれる環境が必要です。エコノミックラズ症候群による血栓症や、産後の感染症やうつなどのリスクもあります。

今回の母子専用の福祉避難所開設の協定締結は、これらの諸問題を改善するものです

【最初の一般質問から協定締結までの流れ】

平成28年12月 逗子市議会第4回定例会にて一般質問を行う

丸山質問:「母子避難所の設置の必要性について聞く」

行政答弁:「避難所の中に福祉避難所としての設置が必要と考える」

丸山質問:「専用の独立した母子避難所の設置も必要ではないか」

平成29年2月 聖和学院へ母子避難所設置の要望書を提出、受理される

平成29年6月 第2回定例会にて一般質問

平成29年12月 第4回定例会にて一般質問

令和1年6月 第2回定例会にて一般質問

令和2年3月 総合計画に関する特別委員会で質問

令和4年6月 第2回定例会にて一般質問

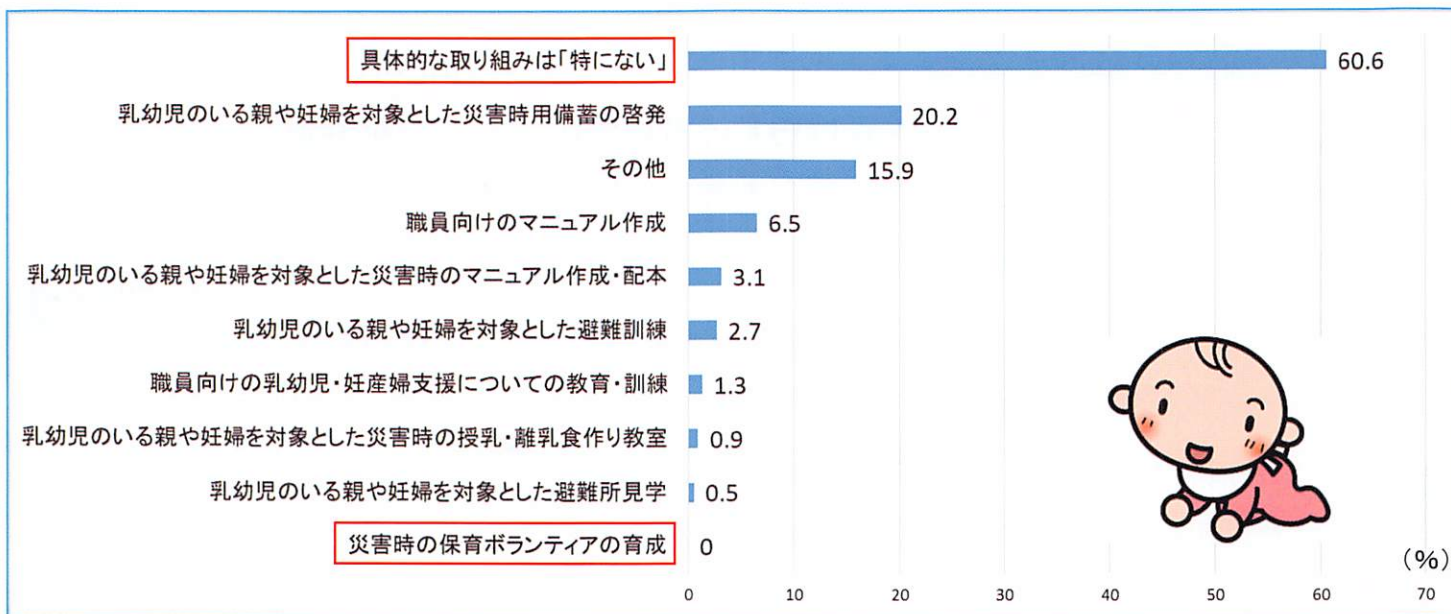
令和5年1月 逗子市と聖和学院・医師会・助産師会が協定締結



東日本大震災時の宮城県では、女性用物干し場を設置できた市町村は35市町村中4市町村でたったの1割強です。



下のグラフは、一般財団法人日本気象協会と株式会社明治が共同で全国の自治体に行った調査において、東日本大震災以降に各自治体を実施した「乳幼児のいる親や妊婦を対象とした防災・災害時の対策についての具体的な取り組み」を示したものです（重複あり、発表2020年）。



具体的な取り組みは「特にない」と回答した自治体が60.6%もある一方、「乳幼児のいる親や妊婦を対象とした災害時用備蓄の啓発」を実施している自治体が20.2%ですがありました。しかし、肝心の災害時の保育ボランティアの育成について行っている自治体はありませんでした。

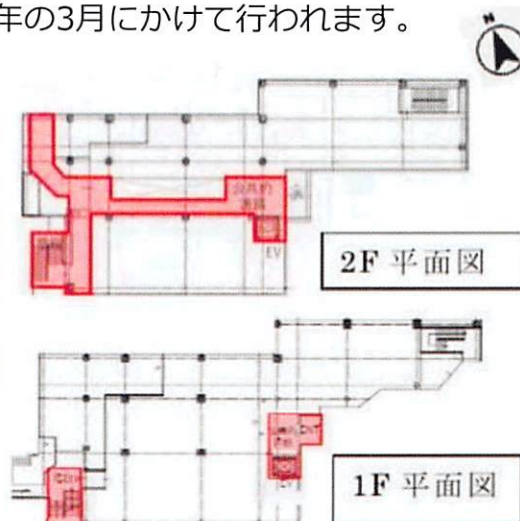
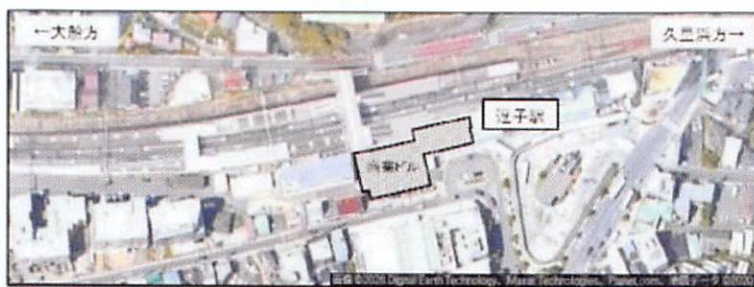
今後、聖和学院・逗葉医師会・神奈川県助産師会のご協力を得て、聖和学院の学生さんに防災ボランティアの研修を受けてもらうなど、様々な取り組みが検討されています。

JR逗子駅前 優良建築物等整備事業



歩車分離による交通渋滞解消のための駅前と銀座通り接続の歩行者デッキ整備計画を念頭に置き、JRが建設予定の商業ビル内に公共的な通路や昇降設備等（図の赤い部分）を整備し、駅前の交通渋滞の解消を図る環境整備事業が令和6年の1月から令和7年の3月にかけて行われます。

位置図



逗子市議会 第63代 議長
 芸術文化振興協会副会長
 富士愛育園非常勤講師(体操・造形担当)
 聖マリア幼稚園非常勤講師(造形担当)

筑波大学大学院修士課程修了
 元宇宙科学研究所(現JAXA) 研究生
 研究生時の論文:「宇宙機用熱制御
 材料の紫外線による劣化」



ブログ